

Technical Information	
文書番号	SYMC-SBG-090925-1
タイトル	Symantec Brightmail Traffic Shaper Version 6.0.2-1 リリースノート
対象機器	Symantec Brightmail Traffic Shaper
ソフトウェアバージョン	6.0.2-1
プラットフォーム	-
参照	-
問合せ先	日商エレクトロニクス株式会社 ソリューションパートナー統括部 技術統括部 サポート第一グループ E-mail: symc-support@nissho-ele.co.jp

### 本書について

Symantec Brightmail Traffic Shaper Version 6.0.2-1 に関する情報が含まれています。  
Symantec Mail Security 8160 は V6.0 より Symantec Brightmail Traffic Shaper (以下 SBTS) に名称が変更になりました。

## 本リリースについて

SBTS Version 6.0.2-1 は、従来の SBTS Version 6.0.1-12 のパッチアップデートとなります。

## リソース

詳細な情報は以下より入手可能です。

<メーカーマニュアル/メーカーリリースノート(日本語)>

<http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/enterprise/sbm/sbts6.0.2/manuals.html>

<メーカー ナレッジベース(英語)>

[http://www.symantec.com/business/support/knowledge\\_base\\_sli.jsp](http://www.symantec.com/business/support/knowledge_base_sli.jsp)

## 新機能または強化点

Version 6.0 の主な新機能 (Version 5.5 と比較) は以下となります。

- ・ 最大同時接続数
  - アプライアンス 1 台につき最大 30,000 の同時接続が可能になりました。
- ・ 拡張されたデータベースサイズ
  - IP のデータベーステーブルを 5 倍まで拡張可能になりました。
- ・ レポート機能の強化
  - シェーピング処理の結果を Syslog にエクスポートが可能になりました。
  - シェーピング時の SMTP エラーメッセージがカスタマイズが可能になりました。
  - 管理コンソール上のレポート画面が改善されました。
- ・ アンチスパムデータベースの管理機能の強化
  - 登録 IP アドレス情報の検索機能が強化されました。
  - 特定のネットワークパスに対して指定した日数の間、ロックすることが可能になりました。
- ・ 新しいユーザの種類
  - アクセスレベルを制御するユーザグループが追加されました。
- ・ スпам対策フィルタ
  - スпам対策フィルタに使用するルールセットの選択が可能になりました。
- ・ コマンドラインの強化
  - 新しく追加された stagectl コマンドを使用して、トラフィック制御ステージを変更することが可能になりました。
- ・ アウトバウンドトラフィックシェーピングステージ
  - アウトバウンドトラフィックシェーピングステージを追加しました。
  - アウトバウンドステージは、ルーティングモードでのみ使用できます。
- ・ R610 ハードウェアのサポート
  - Symantec Brightmail Traffic Shaper 6.0.1 は、シマンテック社指定の Dell R610 ハード

ウェアをサポートするようになりました。

### 変更/修正内容

Version 6.0 の変更及び修正内容は以下となります。

- ・ [Altered Paths] ページが [Paths] タブから削除され、[Search Paths] ページから検索条件を使用して検索が可能になりました。
- ・ [Reports] タブで使用可能だった [Performance Report] ページが削除されました。

## 既知の問題/注意事項

現在、Version 6.0 で確認されている問題は以下となります。

ここに記載の内容以外の問題に関しましてはメーカーリリースノートをご覧ください。

---

- ・ アップグレード後のバックアップについて

Backup Path Data より自己学習した path 情報のバックアップを取得して下さい。Path 情報をバックアップされない際はハードウェア交換時にお客様環境の path 情報が無い為にメールの遅延が発生することがあります。

---

- ・ 設定情報について

アップグレード前に V4、V5 の設定のバックアップファイルを取得したとしても、アップグレード後にそのファイルを利用することが出来ません。

設定のバックアップファイルに関しては、アップグレード後にエクスポートしたファイルのみがインポートすることが可能です。

但し、V6.0.1-12 の設定のバックアップファイルはインポートすることが可能です。

---

- ・ 設置構成に関して

SBTS は BridgeMode と RoutingMode の 2 種類の構成を取ることが出来ますが、BridgeMode をご使用頂く様お願いします。

BridgeMode 時に 1 台の SBTS に対し、複数台の ProtectServer を設定すると SBTS の障害時に全ての ProtectServer と通信が出来なくなります。

そのため、SBTS 1 台に対して ProtectServer は 1 台の構成を組んで頂くようお願いします。

---

- ・ Software Updates のスキップ

初期セットアップ時に Software Updates による OS のアップデートをスキップ可能になりました。

これにより CD リストアした状態の OS バージョンによる運用が可能になります。

---

- ・ 管理インターフェースからのルーティング(eth2)

トラフィックが管理インターフェース eth2 の IP アドレスへ、eth0 または eth1 を介して到達するような、非対称ネットワークポロジを設定できます。

ただし、この設定は推奨されていません。

---

- ・ 証明書の更新

2009 年 11 月 30 日をもって、すべてのバージョンの Symantec Brightmail Traffic Shaper (以降 SBTS) および Symantec Mail Security 8160 に同梱されている SSL 証明書が失効します。証明書失効後、ソフトウェアは Symantec バックエンドサーバーと通信できなくなるため、新しいスパム対策ルールセットのダウンロードやソフトウェアの更新、製品登録を行うことができなくなります。

ソフトウェアは動作し続けますが、スパム対策ルールセットが古くなるにつれ、トラフィックシェーピングの効果が無くなります。

スパム対策ルールセットの更新、ソフトウェアの更新、製品登録を 2009 年 11 月 30 日以降も継続して行えるようにするには、ソフトウェアを SBTS 6.0.2 にアップグレードすることにより、新しい SSL 証明書を取得する必要があります。

この更新作業は SSL 証明書の失効前に行う必要があります。

---

## アップグレードについて

- V5 及び V6 からのアップデート方法
- アップグレード後に自動で OS の再起動が行なわれます。

### <アップグレード方法>

#### 1. コントロールセンター(GUI)よりアップデート

- 1-1. [Administration] -> 左側の[Software Updates] をクリックする。
- 1-2. “6.0.2-1” が表示されていることを確認 -> [Install now] をクリックする。

### <アップグレードの注意事項>

- ・ Backup Path Data より自己学習した path 情報のバックアップを取得して下さい。
- ・ Traffic Control をカスタムしている場合には、カスタムした Traffic Control の設定情報のバックアップを取得して下さい。

v6.0.1-12 の場合は Software Updates のスキップをサポートしているため、設定情報のバックアップを取得して下さい。

## ダウングレードについて

V4、V5 からのアップグレード後では、ダウングレードすることは出来ません。

v6.0.1-12 の場合のみ CD リストアよりダウングレードが可能です。

<http://service1.symantec.com/SUPPORT/ent-gate.nsf/docid/2005040414130363>

## 改訂履歴

2009/9/25	初版
2009/10/29	第二版 “アップグレードについて” “ダウンロードについて” に追記

以上